



奈良県議会

第16号

だより

発行／奈良県議会 編集／議会広報委員会
 平成25年2月1日発行
 〒630-8501 奈良市登大路町30番地
 TEL 0742-27-8964
 奈良県議会だよりは年4回（6、8、12、2月の発行予定）です。

12月定例県議会の概要

補正予算案など43議案を審議

第309回定例県議会が、12月3日から12月14日までの12日間にわたって開かれ、今定例会に提出された平成24年度奈良県一般会計補正予算案、条例改正案や請負契約の締結など、43議案が審議されました。

開会日には、10月11日から16日の間の、4日間にわたり決算審査特別委員会で審議された「平成23年度奈良県水道用水供給事業費特別会計及び病院事業費特別会計の決算」並びに「平成23年度奈良県歳入歳出決算」等について委員長報告が行われ、いずれも原案どおり認定または報告受理されました。

代表質問は12月6日、7日に、一般質問は10日、11日の計4日間にわたって、14人の議員が財政問題、復旧・復興対策、防災対策、地域振興対策、広域連合問題、観光振興対策、福祉・医療問題、環境・エネルギー問題、経済・雇用対策、農林業問題、住宅問題、道路・河川整備、交通政策、教育問題、警察問題など県政全般について質問し、活発な議論が交わされました。

会期中には、各常任委員会が開催され、付託された議案の審査が行われました。

最終日の12月14日には、委員長報告が行われ、いずれも原案どおり可決または承認、同意並びに報告受理されました。

また、議員提案の議員報酬の特例に関する条例案を賛成少数で否決したほか、議会基本条例等の一部改正案等2議案と、「倉庫の無届解体問題調査特別委員会」設置の動議を原案どおり可決しました。

議会広報メニュー

テレビ中継放映

代表・一般質問及び2月定例会知事提案理由説明を奈良テレビ放送で生中継により放映しています。次期定例会は2月下旬の予定です。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

インターネット動画配信

毎定例会の全日程及び常任・特別委員会、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会の審議の様子について、中継及び録画配信しています。

奈良県議会ホームページ
http://www.pref.nara.jp/dd.aspx_menuid-1690.htm

第12回都道府県議会議員研究交流大会が開催されました。



11月13日(火)、東京・都市センターホテルにおいて、第12回都道府県議会議員研究交流大会が開催され、全国から都道府県議会議員及び議会事務局職員約500名が参加しました。

都道府県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行うとともに、大会参加を通じて議会間の一層の連携を深め、もって地方分権時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的に開催されました。

奈良県議会からは、井岡議員、猪俣議員、田中議員、除議員、安井議員、奥山議員、粒谷議員、小泉議員、藤本議員が参加しました。大会では、毎日新聞社論説委員長の倉重篤郎氏から「日本の政治の行方」の講演を聴取するとともに、5つの分科会に分かれて意見交換が行われました。



近畿6府県議員交流フォーラムが開催されました。

11月20日(火)、兵庫県議会において、近畿6府県議会議員61名が参加して、近畿6府県議員交流フォーラムが開催されました。

近畿圏における府県議会の共通課題について、意見交換を行い、連携、交流を深めることを目的として開催されました。

奈良県議会からは、高柳副議長、田中議員、神田議員、森山議員、今井議員、岡議員、浅川議員の7名が参加し、地方自治、環境・エネルギー、防災、産業振興の4つの分科会に分かれ、コーディネーターを交えて意見交換が行われました。





職業訓練のあり方

猪奥 美里議員(民主党)

問 県が行う公共職業訓練は、離職者、求職者に対し、県としてどのような産業を必要としているか、そしてそれに見合うどのような人材が求められているかを取り入れ、失業対策としてだけでなく、積極的な攻めの姿勢の職業訓練のあり方を取るべきと考えるがどうか。

答 国からの委託により行う訓練のコース設定については、国から示されている委託訓練実施要領に基づき、求職・求人ニーズや労働市場のニーズなどを考慮し、就職に資するコース設定に努めている。本県では介護・医療に関する事業所が増加している産業構造の変化や求職・求人のニーズの変化を考慮し、本年度は定員の3割強を介護・医療の分野の訓練に充て、訓練機会の増加を図った。今後も早期の就職につなげていくことを基本として、成長が見込める分野、新たな雇用創出が期待される分野への人材供給にいち早く対応できるような訓練となるように努めて参る。

その他の質問項目

●民主党政権による子育て支援●地域主権改革推進一括法施行に伴う県の取り組み●東アジア地方政府会合●県と市町村との政策協議の場●葛城市の新クリーンセンター建設



県立大学の改革

安井 宏一議員(自由民主党)

問 県立大学が果たすべき役割を的確にとらえ、その使命を果たすことのできる大学にするために、特色のある改革を進めるべきと考える。県立大学の改革について、今後のスケジュールも含めて、知事の所見を伺いたい。

答 これからの地域社会を担う有為の人材を育成するため、県立大学の改革が必要であり、本県独自の特色ある取り組みとして、複数の教員が少人数の学生と議論を重ね学ぶ「対話型少人数教育」、学外でのフィールドワークなどの実践教育を充実する「実践型教育」、「地域交流」や「国際交流」、「就業支援」などの地域の活動拠点となる「交流センター」の設置の3点を、取り組みの柱として改革を進める。平成26年4月から段階的・発展的に改革をスタートさせ、平成27年度以降には公立大学法人に移行し、効率的な経営体制を確立する。

その他の質問項目

●来年度の予算編成●リニア中央新幹線●紀伊半島大水害からの復旧・復興●高齢者が地域で安心して暮らすための取り組み●県営水道●年未年始における警察活動



がん対策

今井 光子議員(日本共産党)

問 がんの早期発見のため、奈良県がん対策推進計画におけるがん検診受診率の目標値50%の達成のため、具体的にどのように取り組んでいくのか。

答 受診率向上のため、県としては、「がんやがん検診についての普及啓発」と「受診しやすい体制づくり」を進めているところ。普及啓発として、県民だより、テレビCMでがん検診の重要性を紹介したり、主要駅での啓発チラシの配布等を行ってきた。さらに本年「がん検診を受けよう!」奈良県民会議を設立し、県民会議のメンバーと連携し、県内での普及啓発活動を継続して行っていく。受診しやすい体制づくりとしては、保険者が行う特定健診とがん検診の同時実施や休日での検診実施等の検討を始めており、受診率の向上に繋げたい。

その他の質問項目

●平和●平城宮跡の舗装問題●森林、林業、木材産業、山村の再生●リストラから雇用を守るための取り組み



農業の振興

中村 昭議員(自由民主党改革)

問 県立医科大学の教育・研究部門の移転候補地となっている農業総合センターの移転について、その検討内容はどのようなものとなっているのか。

答 農業総合センターの移転整備については、将来像を描いた上で、研究機能や規模、移転先について検討を進めてきた。これまでの検討結果は、研究機能については、移転を契機として高度化を積極的に進め、オンリーワンの研究開発を目指して参ることとしたい。移転先としては、気象条件や土壌条件が類似し、研究データを継続して活用できること、また、既存の県有資産を有効活用できることなどを総合的に勘案し、桜井市の農業大学校の敷地内としたいと考えている。今後、「移転整備の構想」を年度内に取りまとめ参る予定。

その他の質問項目

●医療問題●雇用対策●県産材の利用拡大に向けた県の取り組み●県営水道の施設の更新●道徳教育





文化振興

大国 正博議員(公明党)

問 現代芸術や伝統文化イベントが開催されるなど文化芸術活動が活性化してきているが、県の文化振興の推進について、どのように取り組もうとしているのか伺いたい。

答 文化活動は老若男女問わず元気にするといったことだけでなく、地域の経済活性化、地域の振興に繋がるものがあると思うので、今後3つの観点で取り組みを推進したいと考えている。1点目は、質の高い文化芸術事業の継続的な実施である。2点目は、文化芸術への参加、鑑賞の機会の拡大である。3点目は、文化を核にしたまちづくりということである。文化による地域経済活性化のために、様々な取り組みを重ねながら、県の地域の文化力の向上を目指していきたいと思っている。そのような過程で、県の文化振興条例も必要になってくるかもしれないと考えている。

その他の質問項目

- 子育て支援●防災対策●現県立奈良病院移転後のまちづくり●学校施設の内装木質化の推進●ゾーン30



発達障害者対策の充実

梶川 虔二議員(なら元気クラブ)

問 発達障害者支援は早期発見・早期療育が大切である。本県の発達障害者対策の充実は、先進地に学び、本県の実態を踏まえ、課題などの解決に向けて積極的な取り組みが必要だと思うが、知事の所見を伺いたい。

答 早期発見・早期療育には、発達障害が疑われた場合、市町村や療育機関に相談し、次の段階に繋げていくことが大事。現状の課題は、関係機関相互の連携不足や発達障害に関する専門性等の不足。保護者が相談しても、適切な療育機関等での十分な対応に繋がっていない状況も散見。このため、県のリハビリセンターや発達障害支援センター等の専門的機能を持つ施設が、地域の療育機関への指導・支援等に取り組んでおり、市町村等で個別ケース会議を行うなどの対応まで発展してもらいたいと考えている。今後も、地域の療育関係機関の質的向上と連携強化に取り組んでいきたい。

その他の質問項目

- 東アジアとの友好●奈良県立大学のあり方●難病相談支援センターへのアクセス改善●脱原発●大和川流域対策●過疎地の学校対策



一般質問



県道中筋出作川合線上牧交差点付近の渋滞解消

乾 浩之議員(なら元気クラブ)

問 県は、市町村と連携して都市計画道路の見直しを進めているが、上牧町の交通問題の改善に大きく資すると考えられる未着手の都市計画道路五軒屋南上牧線について、どのように考えているのか。

答 県内では既に人口の減少が始まり、将来交通量の減少が予測されており、未着手都市計画道路を対象に見直しを進めている。五軒屋南上牧線は、昭和48年に都市計画決定されたが、これまで事業未着手となっている。上牧町では、同線を含む未着手都市計画道路の見直し作業に着手していないことから、早急に行うよう働きかけている。この中で同線の必要性についても検証されると考えており、作業に入れば町と連携して取り組んで参りたい。

その他の質問項目

- 馬見丘陵公園の魅力アップ●脱原発へ向けた取り組み●美味しい奈良の食づくりとそのブランド力の向上●水道料金の見直し



国営平城宮跡歴史公園

山村 幸穂議員(日本共産党)

問 朝堂院広場の埋め立て、舗装工事が突然行われるという事態に反対世論が起こっているが、草原を残してほしいという市民の思いについて知事の所見を伺いたい。

答 国土交通省が策定した「国営平城宮跡歴史公園基本計画」では、この公園をシンボル、緑地、外周、拠点の4ゾーンに分け、約2/3が緑地と計画されており、宮跡の自然環境は全体として保持されると認識している。基本計画では、この第一次朝堂院を復原整備等を行うシンボルゾーンに位置付けており、広場の整備は第一次大極殿に来訪者が往時の広がりを感じながらアプローチできるようになるなどから、適切なものと考えている。

その他の質問項目

- 中小企業の仕事おこし、住みリフォーム制度の拡充●子育て支援としての医療費助成制度●保育施策の充実●台風12号災害からの復興と山村で住み続けられるための施策



会計処理

阪口 保議員(無所属)

問 今回の所得税の源泉徴収漏れに伴う不納付加算税と延滞税は県費で負担することになるのか。また、今後の県の再発防止対策はどのようなものか。

答 県民に負担をかけることになり、遺憾であり、申し訳ない。主な原因は、源泉徴収制度に対する職員の知識不足にある。そのため、文書通知により全所属に周知徹底するとともに、税務署職員を講師とする職員研修の実施、出先機関実地検査での重点的な確認を行った。また、税務署相談事例等を文書記録化し、情報の共有化を図った。今回の事案を教訓とし、関係法令の習熟・改善意識の醸成を図り、適正な会計処理に取り組む。

その他の質問項目

- 行政委員の報酬の見直し●リニア中央新幹線の中間駅の設置位置●再生可能エネルギー●県有地の売却●若草山への移動支援機能の導入

一般質問



辻町ランプウェイ

粒谷 友示議員
(自由民主党改革)

問 辻町インターチェンジの奈良方面へのランプウェイ整備は、生駒市内の渋滞解消や建設中の市民病院へのアクセス改善などにつながり、極めて重要だと考えるがどうか。

答 阪奈道路と国道168号が接続する辻町インターチェンジは、幹線道路ネットワークの観点からも、奈良方面へのランプウェイ設置は重要な課題と認識している。事業が進まなかった過去の経緯からも、地元住民や自治会の協力・理解が不可欠であり、どのような対策が可能であるか、生駒市とも連携して検討して参りたい。

その他の質問項目

●指定管理者制度●危機管理体制●大和川の浸水対策



骨髄移植医療

尾崎 充典議員
(民主党)

問 骨髄移植のドナー登録だけを行う単独型登録会や献血と同時に登録を行う並行型登録会を積極的に展開するなど、ドナー登録者の総数増加に効果的な取り組みを増やす必要があると考えるがどうか。

答 骨髄バンクの登録は、血液センターが献血を行う時に「なら骨髄バンクの会」や県等が行う並行型登録会が年12回、「なら骨髄バンクの会」と県が登録だけを行う単独型登録会を年1回行っている。他府県と比較すると、並行型登録会が少なく、その増加について相談しているところ。具体的には、若年層の増加を図るため、大学祭等での登録会を実施できるように各大学と調整を行い効果的な増加を図りたい。

その他の質問項目

●経済対策

併設型の
県立中学校奥山 博康議員
(自由民主党改革)

問 中高一貫教育として、先月末、併設型の県立中学校を県立青翔高校に設置することを発表されたが、県立青翔高校に併設する理由と今後の設置に向けたスケジュールを伺いたい。

答 青翔高校に併設する理由は、学識経験者で構成する「併設型中高一貫教育校設置協議会」の中で、自然科学に関する旺盛な探求心や高い科学的洞察力を備えた人材育成が必要とされ、それには全国初の理数科単独校でスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けている青翔高校がふさわしいとされた。今後のスケジュールは、25年2月に県立中学校の設置条例を議会に上程し、26年4月の開校を目指すこととしている。

その他の質問項目

●東アジア地方政府会合の今後の展開●道路、河川整備●いじめ問題への対応●児童生徒の進路

●国への意見書、決議

この定例会では、意見書5件を可決しました。

意見書は、内閣総理大臣のほか関係大臣などに提出しました。

【意見書】

- B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書
- 中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書
- 民意を反映した衆議院選挙制度への改革を求める意見書
- 改正貸金業法の堅持及び多重債務対策の強化を求める意見書
- 次代を担う若者世代支援策を求める意見書

議場コンサート
来場者募集!!

奈良フィルハーモニー管弦楽団のアンサンブルによる演奏

- ◇平成25年2月27日(水)
(2月定例会開会日)
- ◇午後0時30分より(30分程度)
- ◇募集人員:100名
(希望者多数の場合は抽選)

※事前の申込(2月15日(金)締切)が必要となりますので、詳しくは県議会ホームページ、または県議会事務局(0742-27-8964)までお問い合わせください。

中南和地域における
歴史を活用した観光振興辻本 黎士議員
(自由民主党)

問 2013年は竹内街道が整備されて1400年にあたり、沿線自治体が様々な取り組みを計画している。県において葛城市をはじめとした中南和地域における歴史を活用した観光振興についてどのように考えているのか。

答 中南和地域は、「記紀・万葉」をはじめとした歴史素材が豊富であり、竹内街道1400年を記念した事業についても、熱意ある市町村が府県を超えて集まり、継続して広域的に実施されており、本県も大阪府とともに積極的に参画している。これらに、当麻寺や石光寺等県内各地で予定されている「秘宝・秘仏特別開帳」を組み合わせ、耳成観光案内所も活用して、中南和地域の魅力を効果的に発信したいと考えている。

その他の質問項目

●県産農産物の首都圏での販売●災害時要援護者支援●葛城市周辺の道路整備●教育問題

宇陀土木事務所の
今後の姿田中 惟允議員
(自由民主党)

問 宇陀土木事務所の今後の姿をどのようなものとして考えているのか。ご見解及び今後の方針についてお聞かせいただきたい。

答 宇陀土木事務所に関しては、関連する自治体や窓口に来る住民や企業の方々への行政サービスの利便性の維持や土木の機能を果たす観点からも「改良工事」「維持管理」「災害対応・復旧復興」などを担当する拠点を設置することとしている。これらの機能を果たすため、判断して動くことができる組織を取り仕切る管理職の配置も考えている。これまで担ってきた役割が果たせるよう設置する活動拠点の組織、体制を整え対応して参りたい。

その他の質問項目

●東部振興計画●TPPと農業の振興●県立医科大学の将来像と周辺のまちづくり及び宇陀市立病院との連携